※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１３

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ（自立）	単位数	2単位	年次	2年後期
使用教科書	「最新情報Ⅰ」　（実教出版）						
副教材等	最新情報Ⅰ学習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、日常使っている機械（コンピュータ）に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、課題の作成や発表等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。

2　学習の到達目標

・情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する。
・情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，情報を取捨選択する判断力、複数の情報をまとめ伝える表現力を身につける。
・情報社会の特性や情報技術の発展に関心を持ち，情報社会に主体的に参画する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間考査まで	コンピュータとプログラミング	○タイピング練習 ○アルゴリズムとプログラミング	a:アルゴリズムの基本を知り、プログラミングの作成手順を理解する。 b: 簡単な事象についてプログラムを作成することができる。また、自分で工夫し、プログラムを改良することができる。 c: アルゴリズムやプログラミングに興味をもち、積極的に取り組もうとしている。	サブノート 小テスト	課題作成 作品制作	授業観察 感想シート
後期　期末考査まで	情報通信ネットワークとデータの活用	○ネットワーク ○データの活用	a: コンピュータネットワークの構成を理解している。 b: コンピュータネットワークでどのように情報がやりとりされているか説明することができる。 c: ネットワークについて関心をもち、安全に活用しようとしている。	サブノート 小テスト	課題作成 作品制作	授業観察 感想シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度